

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	防犯対策推進事業		
事業担当	市民部 暮らし安全課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 警察・防犯協会・自治会等 】		
目的・目標		事業の概要	
市民・警察・行政が連携し、防犯に対する啓発活動などを実施することにより、市民の防犯活動や防犯対策に対する認識が高まっています。		防犯意識を高揚し、犯罪を未然に防止するため、関係団体と連携して地域安全運動などを実施します。また、看板の掲示やチラシの配布など地域防犯活動を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	市民・警察・行政が連携した地域安全運動実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	3	3	3	3	
	実績	4	4	4		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	犯罪発生件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	4300	4200	4100	3400	
	実績	3535	3447	3540		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
地域安全運動を計4回実施し、市内で最も多い自転車盗難は4年ぶりに75件減少しましたが、刑法犯認知件数の全体件数は9年ぶりに増加しました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	近年の多様化する犯罪に対して、市長への手紙などにより市民から防犯対策強化についての要望が寄せられています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続的に実施していくことで、広く市民に啓発し、防犯活動を身近なものとして行っていくことが期待できます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市・警察・市民が協働して啓発活動等を展開することは市民の防犯意識の向上に有効です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市のみでなく、多くの関係者を巻き込むことで、より効率的に事業を展開しています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 地域での防犯活動は、防犯協会支部や自治会が主体となって実施しています。市はその事業に対して、啓発物品等を提供していくことで支援しています。また、地域安全運動については、関係団体と連携して実施しています。このような事業を継続的に実施しながら、市民の防犯意識を高めていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施	地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施	地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施	地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,244	2,291	2,180	2,134
事業費 (A)		2,244	2,291	2,180	2,134
執行率 (%)		98.94	98.54	98.73	
内訳	職員 (人)	0.90	0.90	0.90	0.90
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,521	7,434	7,294	7,214
フルコスト (A+B)		9,765	9,725	9,474	9,348

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針 引き続き関係団体と連携・協働しながら事業を進めていきます。啓発物品については、効果的な物品を配布していきます。推進大会はより効果的に防犯に係わる意識を高めるよう、防犯協会、警察とも内容を協議しながら実施していきます。防犯協会補助金については、22年度中に見直した内容に沿って適正化を図ります。
課長コメント 防犯対策は、警察・行政・防犯協会・防犯協会各支部・自治会等が連携し、多くの市民の参加を得て実施していくことが大切です。市民の防犯啓発意識を着実に高め、犯罪発生件数の減少に努めます。